

北海道滝川西高等学校 スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール研究開発計画概要

(1) SELHi (スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール) の趣旨

「英語が使える日本人」の育成のために、「英語を使用する活動を積み重ねながらコミュニケーション能力の育成を図る」という先進的な英語教育の研究開発及び普及を行おうとする高等学校をSELHiとして文部科学省の指定します。

(2) 滝川西高等学校の現状と課題

英語によるコミュニケーション能力を高めたいという気持ちは比較的強く、コミュニケーション能力に高い関心を示し、授業に対する姿勢は概ね積極的です。しかし、語彙や文法事項など基礎学力が十分に定着していないために、特にスピーキングとライティングを苦手としています。

従って、コミュニケーション能力による基礎学力の定着から発展的な内容までの指導を充実させる授業改善を行い、生徒の実践的コミュニケーション能力を育成することが必要と考えられます。また、基礎・基本を定着させた上での、ライティング能力及びスピーキング能力を向上させるプログラム開発を必要がある、と考えています。

(3) 滝川西高校が設定した研究開発課題

少人数指導及びティーム・ティーチングによるinput-intake-outputの充実を目指した授業及び評価の工夫・改善により、自己表現能力を高める指導方法の研究開発を行う。

(4) 研究内容

- ① 基礎・基本定着のためのinput-intake-outputの展開を核とした少人数指導とティーム・ティーチングによる授業の研究
- ② 授業改善のための適切な評価方法に関する研究

(5) 指導運営委員

氏名	所 属 (専 門 分 野)	職	指 導 領 域・ 分 野
御手洗昭治	札幌大学文化学部	教 授	研究開発全般にわたる指導・助言
河合 靖	北海道大学大学院国際広報メディア研究科	教 授	研究開発全般にわたる指導・助言
牧野 多聞	國學院短期大学コミュニケーション学科	教 授	研究開発全般にわたる指導・助言
加澤 雅裕	北海道教育庁生涯学習部学校教育課	指導主事	研究開発全般にわたる指導・助言
藤井 勝弘	北海道教育庁空知教育局生涯学習課	指導主事	研究開発全般にわたる指導・助言
白鳥 金吾	北海道立教育研究所 研究研修主事	指導主事	研究開発全般にわたる指導・助言
前田 昌敏	滝川市教育委員会学校教育課学校教育グループ	主 査	ALT派遣等の支援及び指導・助言
山内 康裕	社団法人滝川国際交流協会	事務局長	国際交流事業等の支援及び指導・助言

(6) SELHi の対象

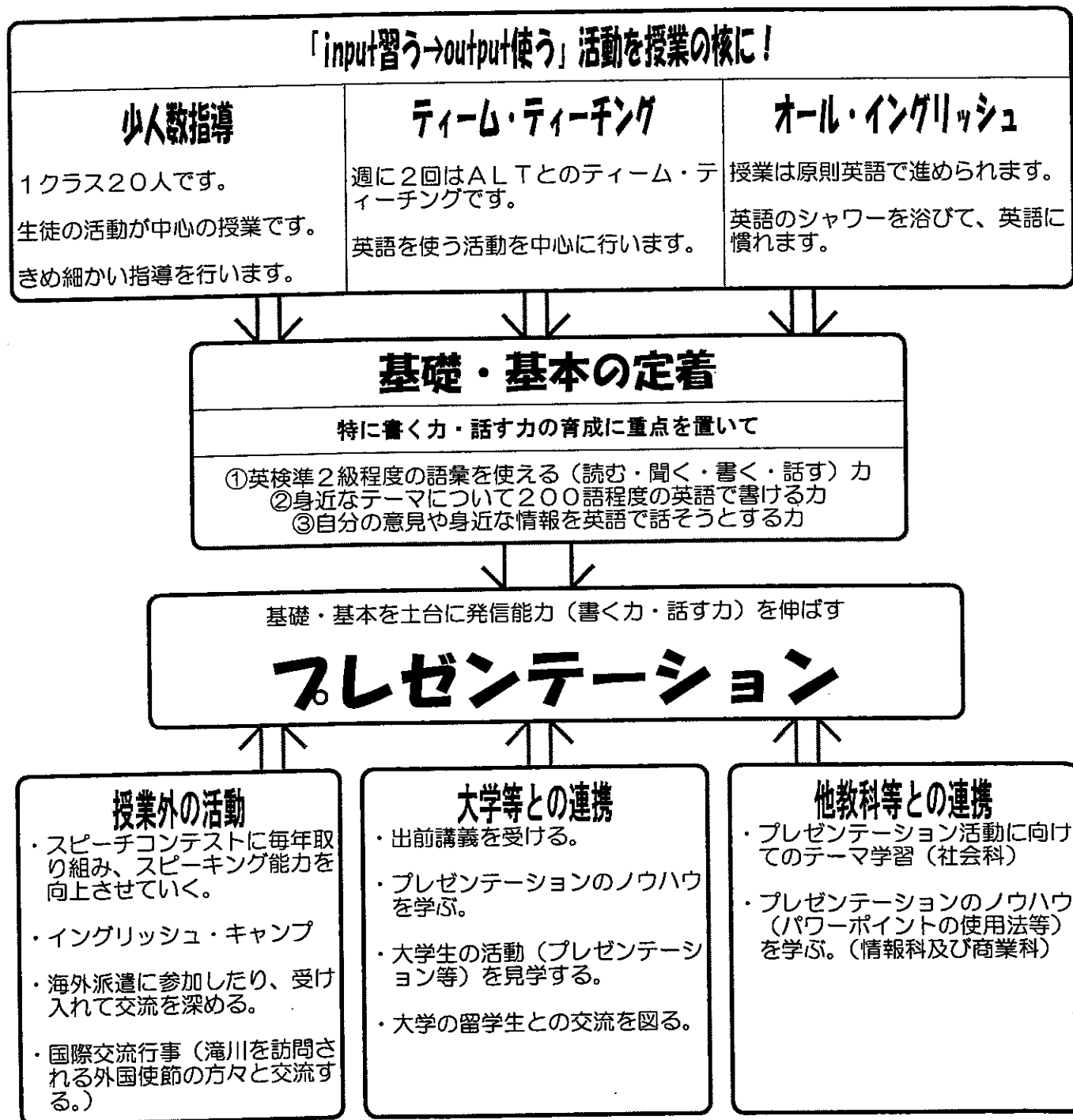
(平成20年度、平成21年度については予定です。)

年度	学年	科 目	単位	時期	対 象	クラス数	授 業 形 態
H19	1 学年	英語 I + OCI	5	通年	普・全ク	3クラスをそれぞれ2分割	少人数指導 ALTとのT.T. (週2回) 英語IとOCIを合わせて実施していく。
H20	2 学年	英語 II	4	前期	普・全ク	3クラスを2分割	少人数指導・T.T. (週1回)
			4	後期	普・国際	1クラス	少人数指導
			2	後期	普・国際	1クラス	ALTとのT.T. ・ 少人数指導
H21	3 学年	リーディング	4	通年	普・国際	1コースを2分割	少人数指導
		ライティング	4	通年	普・国際	1コースを2分割	ALTとのT.T. ・ 少人数指導
		OCI II	2	通年	普・国際	1コースを2分割	ALTとのT.T. ・ 少人数指導

(普：普通科、国際：国際文化コース、T.T.：チームティーチング)

(7) 研究の具体的方法

- ① 基礎・基本定着のためのinput-intake-outputの展開を核とした少人数指導とチーム・ティーチングによる授業の研究



- ② 授業改善のための適切な評価方法に関する研究

生徒の自己表現能力を伸ばすために、授業改善に努めます。

- (ア) 適切な到達目標を設定し、その達成に向けた授業を実践します。
- (イ) 授業の方法や内容について生徒、教師双方が評価し、授業等の改善に努めます。
- (ウ) 単元毎に生徒自身が自己理解度を評価します。
- (エ) 考査の検証を行い、生徒の技能を正確に評価し、授業の改善、能力向上につなげていきます。
- (オ) 外部テストを導入して、生徒の英語力の伸びを客観的に測ります。